



KAWASAKI Sustainable Spot

カワサキ・サステナ・スポット

「サステナブル（持続可能）な未来」を見据える上で、今やSDGsは世界共通の目標です。カワサキにあるさまざまなスポットをサステナブルな視点で紹介します。



とんもり
飛森谷戸の自然を守る会
高木一弘会長

川崎国際生田緑地ゴルフ場に隣接し、正八幡社跡地、やすらぎの森、滝沢の池（初山の池）と用水路（とんもり川）から形成される自然豊かな里山。湿地を生かした田植えや野菜の収穫などを通じて自然との触れ合いを感じられる場所です。6月初旬には川沿いをゲンジボタルが飛び交い、春と秋には、森に囲まれた広場で演奏と虫の鳴き声を楽しめる「森の音楽会」を開催しています。

とんもり谷戸

住 宮前区初山1丁目17番地



村木芳夫園長

夢見ヶ崎動物公園

住 幸区南加瀬1丁目2-1
☎ 044-588-4030
休 年中無休



住宅地に囲まれた丘（加瀬山）の上にある入場無料の動物公園。約60種の動物を展示。絶滅が危惧される動物やその生息域の情報を紹介し、動物や自然環境保護の普及啓発を行う他、職業体験、飼育実習、調査研究の受け入れや出前講座の実施など未来を担う子どもや若者を対象にした取り組みもしています。動物の生態を楽しく見学できるように、それぞれの生態に詳しい職員が手作りで、展示を工夫しています。



天文担当
石阪あすみさん

かわさき宙と緑の科学館

住 多摩区枳形7丁目1-2
☎ 044-922-4731
休 月曜（祝日の場合は翌平日）
祝日の翌平日、年末年始



自然・天文・科学の3分野からなる自然科学系博物館。川崎市や生田緑地の自然や天文に関する展示室や科学実験教室なども開催しています。幅広い世代、多様なニーズに対応した学びの場は、生態系や生物多様性の価値と保全、外来種の侵入防止などについての啓発活動にもつながっています。最新鋭機「メガスターⅢフュージョン」を駆使したプラネタリウムでは世界最高水準のリアルな星空が体験できます。



カワスイ 川崎水族館

住 川崎区日進町1-11 川崎ルフロン9-10階
☎ 044-222-3207 休 川崎ルフロン休業日に準ずる

有馬律雄館長



「世界の美しい水辺」をテーマに、市内を流れる多摩川からアジア、アフリカ、南米アマゾンの熱帯雨林まで、世界のさまざまな環境に暮らす生きものを最新の照明・音響・映像技術を駆使して展示する新感覚のネイチャーエンターテインメント水族館。カワスイでは、ここで暮らす生きものたちのふるさとの美しい自然と、未来に受け継ぎたいという地球への思いで、プラスチックやごみ減量への取り組みなどさまざまなアクション「エコカワ!プロジェクト」をすすめています。



王禅寺 エコ暮らし環境館

住 麻生区王禅寺 1285 番地
王禅寺処理センター（ごみ焼却施設）内
☎ 044-712-4637
休 水曜（祝日の場合は翌平日）
年末年始



浅川真弓館長



館内は「資源循環ゾーン」「温暖化対策ゾーン」「自然共生ゾーン」「総合学習ゾーン」に分かれ、日々の暮らしと環境との関わりを自分のこととして学習できる施設。コンピューターグラフィックスやタブレット端末を使ってゲームやクイズ形式で楽しく学べ、小学生の社会科見学にも活用されています。処理センターのガイドツアーに参加いただくことで、さらにエコを身近に考えるきっかけになると思います。



ノクティ

住 高津区溝口 1-3-1
☎ 044-814-7777
休 年中無休



石川雅道専務取締役



マルイファミリー溝口と 60 店舗以上の専門店街からなるショッピングモール。さらに高津市民館・銀行・郵便局・行政サービスコーナーなど地域のインフラとしての役割も担っています。燃えるもの、リサイクルできるものなど、バックヤードでの明確な分別により、ごみの減量と資源化を実現（写真左下）。それらが評価され、第 8 回川崎市スマートライフスタイル大賞最優秀賞や、環境省の脱炭素チャレンジカップ 2020 の優秀賞を受賞。フードコートのテーブルとすに国産木材を使い「木の良さに気づく新・食空間」を提案するなど多面的にサステナブルな取り組みを実践中です。



SDGsとは

SDGs（エスディージーズ）とは、Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」のことで、2016年から2030年までの15年間に達成することを目指す、世界共通の目標です。貧困・飢餓・環境問題、経済成長やジェンダー平等などさまざまな課題の視点を通し、17の目標から構成されています。

SDGsの17目標：①貧困をなくそう ②飢餓をゼロに ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑥安全な水とトイレを世界中に ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩人や国の不平等をなくそう ⑪住み続けられるまちづくりを ⑫つくる責任 つかう責任 ⑬気候変動に具体的な対策を ⑭海の豊かさを守ろう ⑮陸の豊かさを守ろう ⑯平和と公正をすべての人に ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

KAWASAKI Sustainable Spot

カワサキ・サステナ・スポット



等々力球場

住 中原区等々力 1
☎ 044-738-1521 休 年末年始



川崎市建設緑政局
等々力緑地再編整備室
阿部亘仁さん



2020年10月にリニューアルオープンした等々力緑地内にある野球場。高校野球や社会人野球の大会が開催でき、フィールドの両翼100m、センター122mは県内最大を誇ります。公園内の球場として、多くの人に親しまれるよう外野席外側を散歩できるデッキ上の遊歩道を設けました。また、老朽化していた老人いこいの家を合築整備した他、防災備蓄倉庫の整備など災害時の活動拠点としての機能も備えています。



今あるものを生かした環境に優しい製品なんです

BPM容器は最後は自然に戻る竹製で、さらにご飯が付着しない生分解性シートを貼り付けたのは弊社オリジナルです



2 YONEYAMA*

住 川崎区日進町 3-4

食品用パッケージの企画・開発・デザイン・調達・配送までを一貫して行い、全国の食のインフラを担う YONEYAMA。創業 75 周年である 2020 年には、オリジナルの環境配慮型商品「竹からできた容器 BPM シリーズ」(写真上)の販売を開始。その他自社工場と従業員寮をリノベーションした総合的複合施設 unico (ユニコ) の運営など、新しい分野にも挑戦しています。

“今あるものを生かし、持続可能な方法でマネタイズ(収益化)していくこと”を軸に、その土地の歴史や風土、文化、暮らす人々を巻き込み、日々変化を繰り返しながら唯一無二の事業を展開していきます。

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を



日本古来の建築技術に学び、木材パーツの組み合わせのみで釘を一切使わず、組み立てています

こんなに大きなものもつくれるんです

3 VUILD*

住 川崎区日進町 3-4

デジタルテクノロジーによって建築産業の変革を目指す設計会社。3D 木材加工機「ShopBot」(写真右)を駆使し、手のひらサイズの小さな物から人を包み込む建築までを設計しています。

地元の木材を使い半径 10km 圏内で制作を完結させることで、木材の長距離輸送による環境負荷や時間、コストの大幅削減に成功した「まればとの家」は、グッドデザイン金賞を受賞。

全国各地で行う木材ワークショップや、専門知識がなくても自分のオリジナル家具をつくれるオンライン完結型クラウドサービス「EMARF」は、「つくる」を身近なものにすることで、私たちの生活をより豊かにしてくれます。



- 4 質の高い教育をみんなに
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう



フロ カフェ
● FRO CAFE
住 中原区新丸子町 1008-2
☎ 044-767-6111 休 年中無休

2020 年春に誕生した川崎フロンターレ初の常設オフィシャルカフェ。サッカーの配信映像を楽しめる他、素材にこだわったオリジナルメニューもオススメです。内装は、フロンターレが川崎浴場組合連合会と長年アピールしてきた「お風呂」の素材で統一。ニューヨーク(=入浴)風のおしゃれなカフェで心地よい時間が過ごせます。

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任



グラス
● 東海道GLASS
住 川崎区砂子 1 丁目 4-9 砂子岩田ビル 2 階
☎ 080-9391-9140 休 木曜を除く平日

1894 年創業の老舗ガラス商岩田屋が 2020 年 7 月に新しくオープンした、日本の伝統ガラス工芸「切り子」の体験教室。ガラスでできたコップや小皿を削り、自分だけのオリジナル作品をつくることができます。江戸時代から約 400 年続く旧東海道の歴史を感じながら、楽しむものづくりが体験できます。

- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 住み続けられるまちづくりを



カワサキには魅力的なスポットや取り組みをしているところがたくさんあります。見渡せば、世界共通目標のSDGsも実は身近に。カワサキの未来は地球の未来につながっているのです。
*印は企業なので訪問はできません。

これから創り出すエネルギーが川崎には満ちていました!

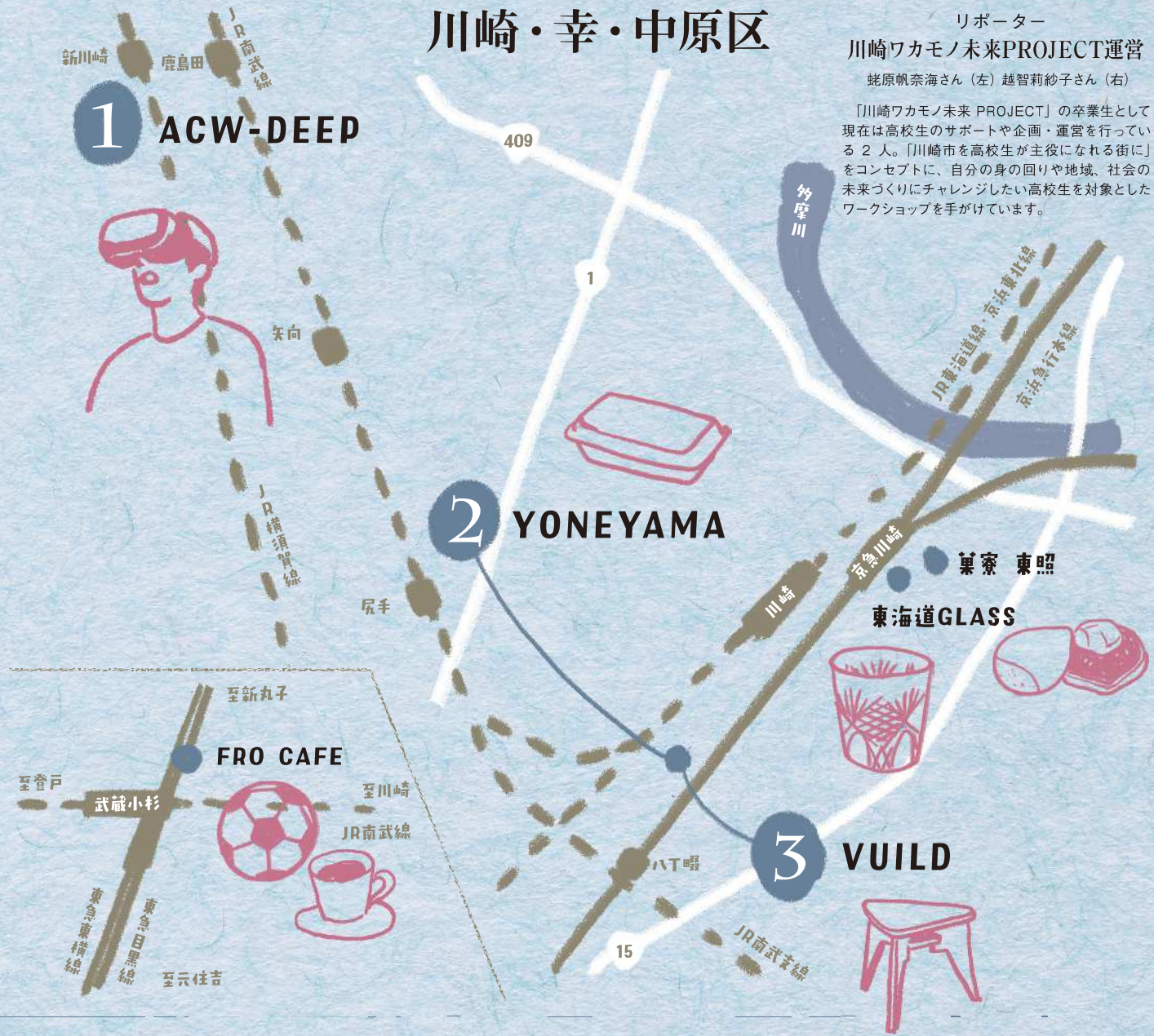
Life in the SDGs KAWASAKI

川崎 SDGs のある暮らし



リポーター
川崎ワカモノ未来PROJECT運営
蛸原帆奈海さん(左) 越智莉紗子さん(右)

「川崎ワカモノ未来 PROJECT」の卒業生として現在は高校生のサポートや企画・運営を行っている 2 人。「川崎市を高校生が主役になれる街」をコンセプトに、自分の身の回りや地域、社会の未来づくりにチャレンジしたい高校生を対象としたワークショップを手がけています。



1 ACW-DEEP

2 YONEYAMA

3 VUILD

FRO CAFE

東海道GLASS

もっと! 周辺おすすめスポット



とろろ
● 菓寮 東照
住 川崎区本町 1-8-9
☎ 044-244-5221 休 年中無休

1913 年創業の和菓子店。季節のお菓子や祝い菓子、日々のお菓子はじめ、江戸時代の旧東海道川崎宿名物料理を再現したかわさき名産品でもある「奈良茶飯風おこわ」(写真左)や「かわっぱり餅」など、立地を生かし、地域に根差した菓子づくりを行っています。和菓子づくり体験会も不定期で開催しています。

- 4 質の高い教育をみんなに
- 12 つくる責任つかう責任



亀のしめ縄、
かわいい

年末には
しめ縄のリースを
みんなでつくります

1 澁谷農園 母家

住 高津区末長1丁目18-1

築100年の母家を改装し、2014年にオープンしたコミュニティスペース。「祖父母から受け継いだ家を地域に残したい」という澁谷さんの思いから始まりました。日本家屋ならではの趣を残した和室や土間、キッチンでは、ヨガ、そろばん、英会話、料理教室など、地域活性化や地産地消につながるプログラムを開催。敷地内の畑では50品目・100品種の野菜を栽培し、農業体験を通して地域の食育にも貢献しています。人がにぎわうことで空間が活気づき、それが建物自体の寿命を伸ばしていく。母家は、地域のさまざまな人の手によって使われ受け継がれる大切な場所になっています。

11

住み続けられるまちづくりを

12

つくる責任 つかう責任

3 カルナエスト CarnaEst

住 麻生区岡上225

自家農園の新鮮な野菜を使ったレストランの経営や、地元大学と連携した加工品ビジネスの展開、川崎唯一のワイナリーづくりなど、生産・加工・サービスを貫いて行う六次産業にチャレンジ。この地で代々受け継いだ農業を大切にしながら、次世代の新しい都市農業のあり方を模索中です。

代表の山田さんが考える持続可能な農業のヒントは、「ビジネスとして成り立つ」こと、そして何より「おしゃれ」であること。研究施設として企業と共同運営している「AIやIoTによる環境管理を導入したイチゴ農園」は、これからの農業の見方を180度変えてしまう...かも!?



AIやIoTを使って温度、湿度、肥料、二酸化炭素濃度を調整しているんですよ

すごいイチゴができて

9

産業と観光振興の基盤をつくらう

11

住み続けられるまちづくりを

12

つくる責任 つかう責任

17

パートナーシップで目標を達成しよう



野菜の切れ端がそのまま入ってる

ここで野菜くずを発酵させます。食べ物から食べ物ができるってすごいですよ

2 はぐるま穂原農園

住 宮前区水沢2丁目10-2

2019年から業務スーパー宮前店(株式会社パスポート)と提携し、循環型社会に向けた福祉農園プロジェクトを実施。店舗から出た食品の残りかすや野菜くずを生ごみ処理機で一次発酵後、はぐるま穂原農園で二次発酵を行い堆肥として活用。育てた農作物は再び業務スーパー宮前の店頭に並びます。農園を運営するのは、知的障害のある人やボランティアの人たち。障害の有無にかかわらず、「今日は力いっぱい楽しく働いた!」と思えるような、みんなにとっての居場所づくりを目指します。業務スーパーで月平均3t以上排出していた生ごみは、今では2t以上がリサイクルされ、焼却ごみ排出量の大幅削減に成功しています。

2

健康をこころに

3

すべての人に健康と福祉を

12

つくる責任 つかう責任

14

海の豊かさを守らう

17

パートナーシップで目標を達成しよう



ふれっしゅふーむ はぐかふえ

住 多摩区西生田3丁目13-5
☎ 044-953-0304 休 日 曜

社会福祉法人はぐるまの会が運営する知的障害のある人たちが働くカフェ。ランチタイムには、宮前区の農園で農業を使わずに育てた旬の野菜やハーブをふんだんに使い、栄養満点のメニューを作っています。丁寧に真心を込めてゆっくりペースで運営する地域の憩いの場です。

3

すべての人に健康と福祉を

12

つくる責任 つかう責任

17

パートナーシップで目標を達成しよう



よみうりランド HANA・BIYORI

住 東京都稲城市矢野口4015-1
☎ 044-966-8717 休 不定休

日本最大級の300鉢を超えるフラワージャンテリアや「花」と「デジタル」を融合したアートショーは幻想的。日本庭園内には重要文化財が並び、春にはよみうりランドオリジナルの多摩緋桜(ひざくら)をはじめ約250本の桜、初夏はホタル観賞など、四季の移ろいも存分に味わえます。日本庭園内の椅子や机は台風で倒れた木を活用しています。

11

住み続けられるまちづくりを

17

パートナーシップで目標を達成しよう



Life in the SDGs KAWASAKI

川崎SDGsのある暮らし

高津・宮前・多摩・麻生区



身近なところで地球を守る取り組みがいろいろあって、びっくりしました



リポーター
じもたんkids

千晴さん(左) 咲希さん(右)

宮前区在住の小学生記者として、区内のさまざまな店舗や施設取材し、記事を書いている「じもたんkids」のメンバー2人。



水とかがやく未来館

住 多摩区三田5丁目1-1
☎ 044-200-3149 休 火曜、祝日、年末年始

自然の恵みを生かした川崎の水道の特徴や仕組みについて学べる施設。浄水処理の工程や災害時の備え、環境配慮へのさまざまな取り組みを、水を作る、配る、使うといった水循環の流れに沿って学ぶことができます。普段何気なく使っている水道への理解が深まること間違いなし!

6

安全な水とトイレを世界中に

7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

9

産業と観光振興の基盤をつくらう

11

住み続けられるまちづくりを

17

パートナーシップで目標を達成しよう

もっと!

周辺おすすめスポット

基本政策 7

生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

- ・自然災害への対策を進め、いざというときに助け合える地域づくりをサポートします。
- ・超高齢社会でも、誰もが生き生きと安心して暮らし続けられる仕組みをつくります。



注目！川崎らしい都市型の仕組みづくり

地域包括ケアシステム構築の推進

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で暮らし続けられる仕組みづくりのため、さまざまな相談窓口が連携して対応し、必要に応じて地域リハビリテーションセンターがサポートするなど、包括的な支援体制づくりを進めます。



令和3年4月にオープンする川崎市複合福祉センター ふうふく

市民活動人インタビュー



河原町団地7・8・9号棟自治会長 川島 要子

築50年を超える幸区の河原町団地では居住者の高齢化が進み、独居の高齢者も増加。安心して暮らし続けるためにもご近所同士の絆は不可欠ですので、地域包括支援センターと連携して70歳以上の高齢者と連絡が取れる体制づくりや、見守り活動、住民交流を行うなど工夫しています。元気な高齢者も多い時代なので、もっと活躍の場が増えるといいですし、世代を分断せず、人間関係が育まれていくまちづくりを広げていきたいです。

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

誰もが訪れやすく暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまち」にするため、JR南武線津田山駅橋上駅舎化の取り組みを推進しています。



JR南武線津田山駅橋上駅舎化

災害に強いまちづくり

市民の災害死ゼロを目指し、建築物などの耐震化や消防力の総合的な強化など災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の防災訓練の支援や市民の防災意識を高める取り組みを進めています。



総合防災訓練(中原区)

交通安全対策の推進

交通事故の防止に向け、行政、交通安全関係団体、警察、市民などと協働・連携し、交通事故のない安全で住みやすいまちの実現を目指した活動を進めています。



安全・安心フェア

関連するSDGsのゴール



川崎市総合計画

私たちのまちのさまざまな所で、市の取り組みが行われています。

川崎市がどのようなまちを目指しているのか、

そのために各取り組みをどのように進めていくのかは、「総合計画」に基づいています。

私たちの生活にとっても身近で数ある取り組みの中から、その一部をご紹介します。



*写真は一部、令和元年度以前のものをを使用しています。

SDGsと総合計画

持続可能な開発目標(SDGs(エスディーゼーズ))は、平成27(2015)年に国連サミットで採択された世界共通の目標で、令和12(2030)年までの達成を目指す17のゴールが掲げられています。

持続可能な社会の実現を目指すSDGsは、川崎市総合計画に掲げる目指す都市像「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」と同様の方向性であるため、「総合計画」を着実に推進することで、SDGsの達成に寄与する取り組みを進めています。

また、川崎市は、令和元(2019)年7月に、SDGsの達成に向けて優れた取り組みを進める「SDGs未来都市」として選定されています。

次ページから、市民や事業者の皆さんと連携・協働しながら、総合計画

に基づいて川崎市がどのような取り組みを進めているのか、それはSDGsのどのゴールにつながっているのか、ご紹介しています。



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



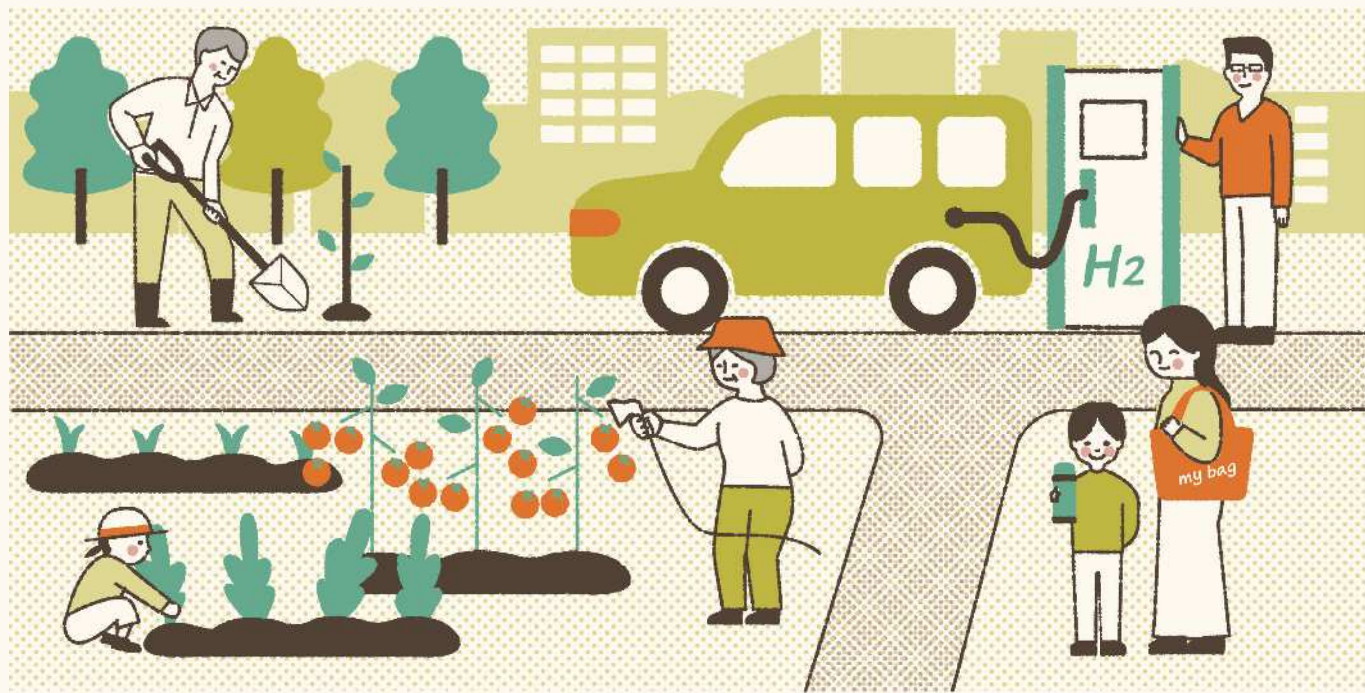
※ここでは、政策ごとにSDGsの17の目標の中から、関わりの深い目標を示しています。

「さいこう」とは… 川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

基本政策 3

市民生活を豊かにする環境づくり

- ・多摩川や貴重なみどりを守り、誰もが安らぎ、くつろげる環境をつくります。
- ・脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



注目！ 二酸化炭素排出実質ゼロを目指す

地球温暖化対策の推進

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、市民・事業者の皆さまとともに、具体的な取り組みを実践していきます。



まなぼう！あそぼう！COOL CHOICEひろば inラゾーナ川崎プラザ

市民活動人インタビュー



川崎市地球温暖化防止活動推進員 徳野 千鶴子

川崎市地球温暖化防止活動推進員は、個人やプロジェクトグループ、それぞれの地域の仲間と普及啓発を行っています。私は主に小学校の環境出前授業で、「温暖化が人間活動によるものであること」や、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」について伝えています。昨年、川崎市では脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」が策定されました。出前授業を受けた子どもたちが活躍する2050年にはCO₂の排出がゼロとなるよう、私も活動を続けていきたいです。

ごみの減量化・資源化の推進

1人1日当たりのごみ排出量が、平成29・30年度と2年連続で政令指定都市の中で最少となりました。引き続き、さらなるごみの減量化やプラスチックごみ問題への対応などの取り組みを進めていきます。



出前ごみスクール

緑の創出と育成

市制100周年を迎える令和6年までに100万本を植樹するという目標を令和元年12月に達成。未来に豊かな環境をつなぐため、「市民150万本植樹運動」として、引き続き取り組みを進めていきます。



市民100万本植樹達成記念及び市民150万本植樹運動植樹祭

農地の保全・活用と農とのふれあいの推進

市民が農にふれる場の提供促進を行うとともに、多様な主体との連携による多面的な農地の活用など、都市農業の振興を図っていきます。



中原区にある福祉交流農園での活動

基本政策 2

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

- ・安心して子育てができる環境づくりを進めます。
- ・いつまでも学びたい気持ちや生きがいを応援するためのネットワークをつくります。
- ・夢に向かって歩き出す、子どもたちの未来を拓く学びを応援します。



注目！ ICTを活用した新しい教育

安全で快適な教育環境の整備

地域ごとの児童生徒数の増加に対応するため、校舎の増築や小学校の新設に向けた取り組みを進めるとともに、教育のICT化を進めるかわさきGIGAスクール構想に取り組み、良好な教育環境整備を進めています。



かわさきGIGAスクール構想の取り組み

市民活動人インタビュー



上丸子小学校PTA会長 保崎 幸一

上丸子小学校PTAでは、コロナ禍で入学式後すぐに休校になったことを受けて、新1年生の各組での交流会を初めてオンラインで開催しました。総会もほとんどwebで開催。こういう時こそ、後ろ向きにならず前例にとらわれず「できることをやっつけよう」という姿勢が大切です。子どもたちの不安を和らげるためにも保護者、先生と連携して、ICTの力を味方につけて、その怖さにも注意しつつ、学校運営に対して支援をしていきたいです。

保育需要の高まりに対応した質の高い保育・幼児教育の推進

多様な手法による保育受入れ確保や保育の質の向上に取り組むとともに、地域における保育と子育ての一体的な事業推進拠点の整備を進めています。



中原区保育・子育て総合支援センター

子ども・若者の挑戦を後押しする「グローバル人材育成事業」の推進 (Stanford e-Kawasaki)

国際的な幅広い視野を持って活躍することを目指す子どもや若者の挑戦を後押しする事業として、市立川崎高校、市立橋高校の生徒を対象に、米国スタンフォード大学と協働で「Stanford e-Kawasaki」を開講しています。



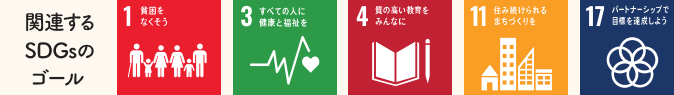
スタンフォード大学教授と話す生徒たち

「地域の寺子屋事業」の推進

子どもたちの学習支援や体験活動を行う地域の寺子屋を、全ての市立小・中学校へ設置することを目指して、取り組みを進めています。



寺子屋の学習支援



基本政策
5

誰もが生きがいを持てる 市民自治の地域づくり

・皆さんのまちづくりへの積極的な参加を応援し、共に創りあげる地域社会を目指します。



注目！ これからのコミュニティ活動

「参加と協働による地域課題の解決の新たなしくみ」の構築

「寛容と互助」の都市型コミュニティの形成に向けて、誰もが気軽に集え、多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」や、地域の取り組みを支援する「ソーシャルデザインセンター」の創出に取り組んでいます。



まちのひろばフェス2020

市民活動人インタビュー



一般社団法人多摩区
ソーシャルデザインセンター
事務局長
俵 隆典

市内で初めて開設された多摩区ソーシャルデザインセンターは、区内の個人・法人・団体などの間に入り中間支援を行う組織です。具体的にはコーディネーターとして、地域のヒト・モノ・資金で困っている団体とそれを活用して欲しい人とおつなぎしています。現在、SNSで共感する川崎の小・中学校出身の大学生が100人近く集まるなど、若い世代をはじめとする幅広い世代のスタッフと共に、活動を展開しています。

迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進

市長との直接対話を通して、その声を市政運営に反映するための「車座集会」を開催しています。



車座集会

市民目線に立った行政サービスを総合的に提供する区役所

来庁者のニーズに寄り添った丁寧な対応など、市民感覚を大切に現場起点の継続的なサービス向上に取り組んでいます。



区役所での窓口対応

差別のない人権尊重のまちづくりの推進

さまざまな差別をなくし、ダイバーシティ（多様性）が尊重される地域社会の実現に向けた取り組みや、多様な文化的背景を持つ外国人市民が共に生きる社会の実現に向けた取り組みを推進しています。



かわさき人権フェア2020

基本政策
4

活力と魅力あふれる力強い都市づくり

- ・世界をリードする川崎のビジネスを力強くサポートします。
- ・首都圏の中で便利につながり、魅力ある暮らしやすいまちをつくります。
- ・スポーツや文化活動が盛んなワクワクできるまちを、未来へとつなぎます。



注目！ 誰もが自分らしく暮らせる地域づくり

「かわさきパラムーブメント」の推進

ダイバーシティ（多様性）とソーシャル・インクルージョン（社会的包摂*）を重点に置きながら、「かわさきパラムーブメント」の取り組みを推進しています。



パラリンピック正式種目 ポッチャ

*社会的包摂…今日的な「つながり」の再構築を図り、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から保護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うこと

市民活動人インタビュー



NPO法人高津総合型
スポーツクラブSELF
副理事長クラブマネージャー
菊地 正

SELFは、スポーツが育む「ひと」「まち」「みらい」をコンセプトに、学校施設を有効活用し、地域の遊び場を創出しています。子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、地域全ての人々が楽しい時間を過ごせるよう多彩なプログラムをそろえています。SELFを卒業した子どもたちが、またクラブに戻り、スポーツ指導者や地域づくりの担い手として活躍する事を期待しながら、これからも活動していきます。

臨海部の持続的発展と日本の成長を牽引する戦略拠点の形成

川崎臨海部の産業が高度に発展し続けるよう、臨海部ビジョンに掲げるプロジェクトを推進しています。



アイコン
ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)の研究活動
©yoshiyasu uchiyama

若者文化の発信によるまちづくりの推進

ヒップホップなどのストリートカルチャーや、BMX（バイシクルモトクロス）やスケートボードなどのエクストリームスポーツなど、若者による文化を活用し、本市の「若さ」という特徴を生かした取り組みを推進しています。



インターナショナル ストリート フェスティバル
INTERNATIONAL STREET FESTIVAL
かわさき スーパープレイク
KAWASAKI 2019 SUPERBREAKの様子

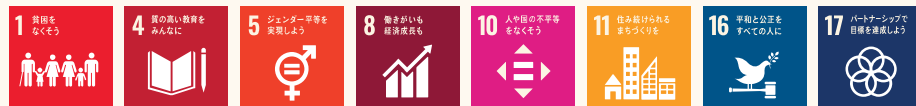
にぎわいの創出に向けた公共空間の有効活用

多様なにぎわいの創出や、交流が生み出す活力と魅力にあふれたまちづくりを目指すため、川崎駅周辺をはじめとした公共空間の有効活用の検討を進めています。



カワサキよりみちサーカス2020

関連するSDGsのゴール



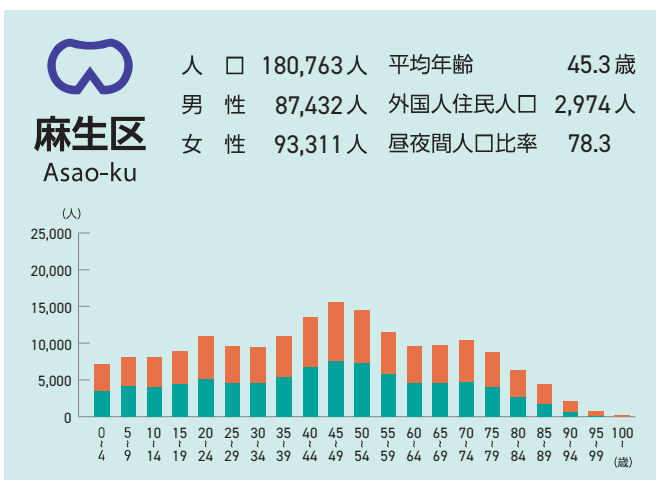
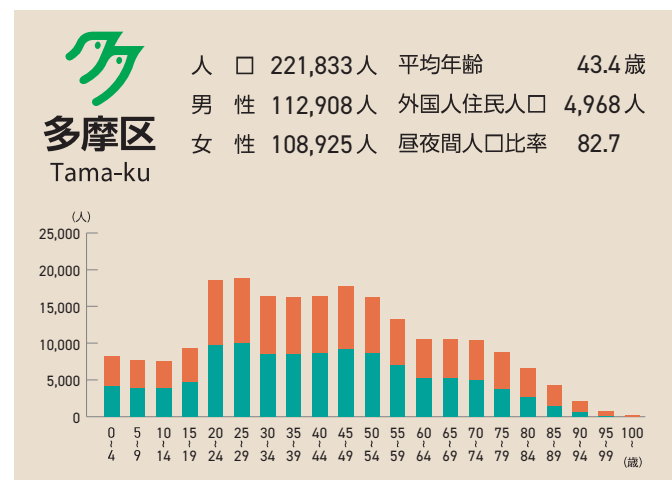
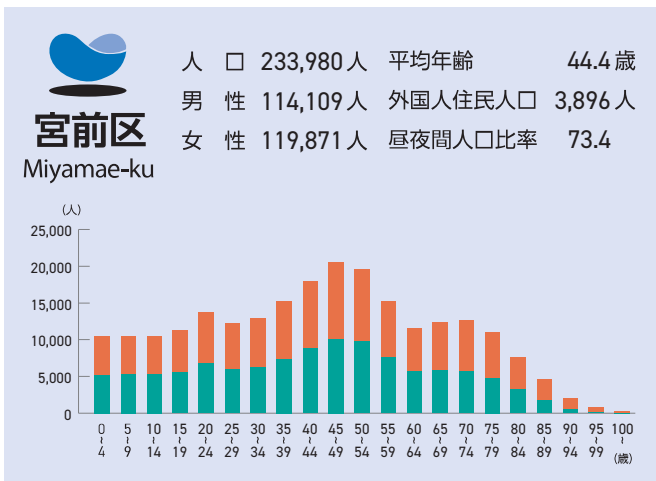
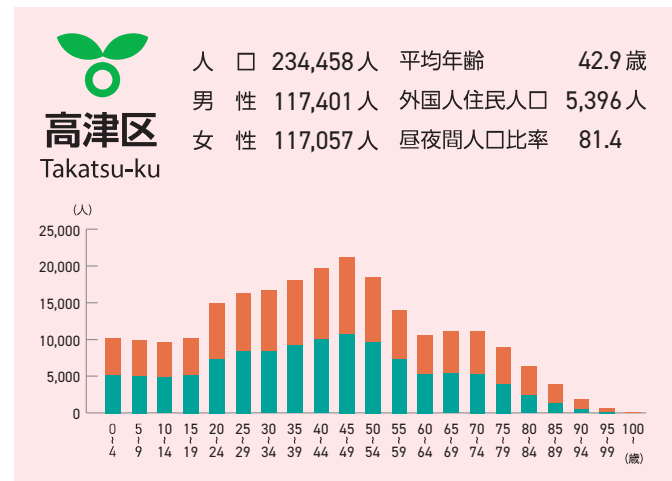
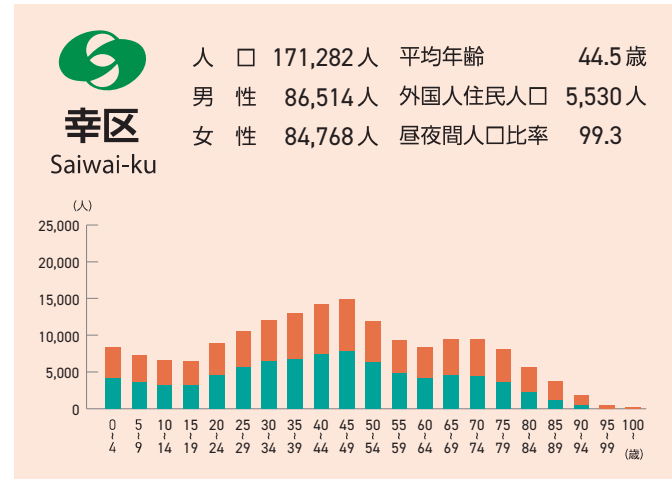
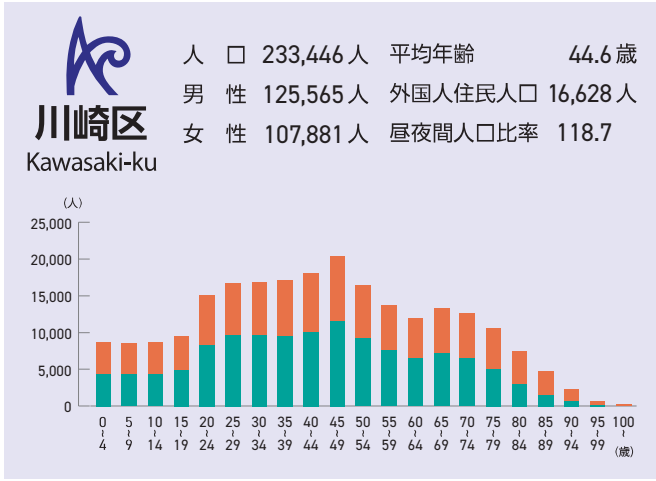
関連するSDGsのゴール



7つの行政区を 人口データから見た あらまし

数字で読み解く川崎市②

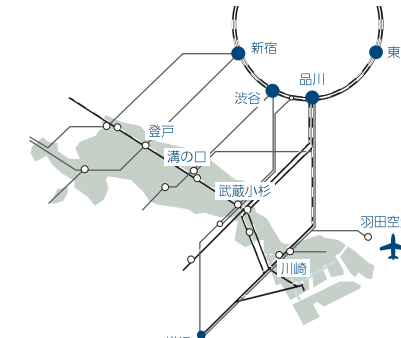
グラフ 女性人口 男性人口…(令和元年版川崎市統計書)
人口…令和2年9月1日現在(川崎市の世帯数・人口)
平均年齢…令和元年10月1日現在(令和元年版川崎市統計書)
外国人住民人口…令和2年9月末現在(川崎市区別年齢別外国人住民人口)
昼夜間人口比率…平成27年10月1日現在(平成27年国勢調査)



統計データ 基本プロフィール

数字で読み解く川崎市①

川崎市は、神奈川県北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接。横浜市と東京都に挟まれた細長い地形で、面積は144.35km²。7つの行政区で構成されており、それぞれの区が個性的な特徴を持っています。交通面では、市内を縦断する形でJR南武線が通り、南武線と交差する形で東京方面に向かう複数の私鉄路線が横断。利便性に優れています。



電車でのアクセス

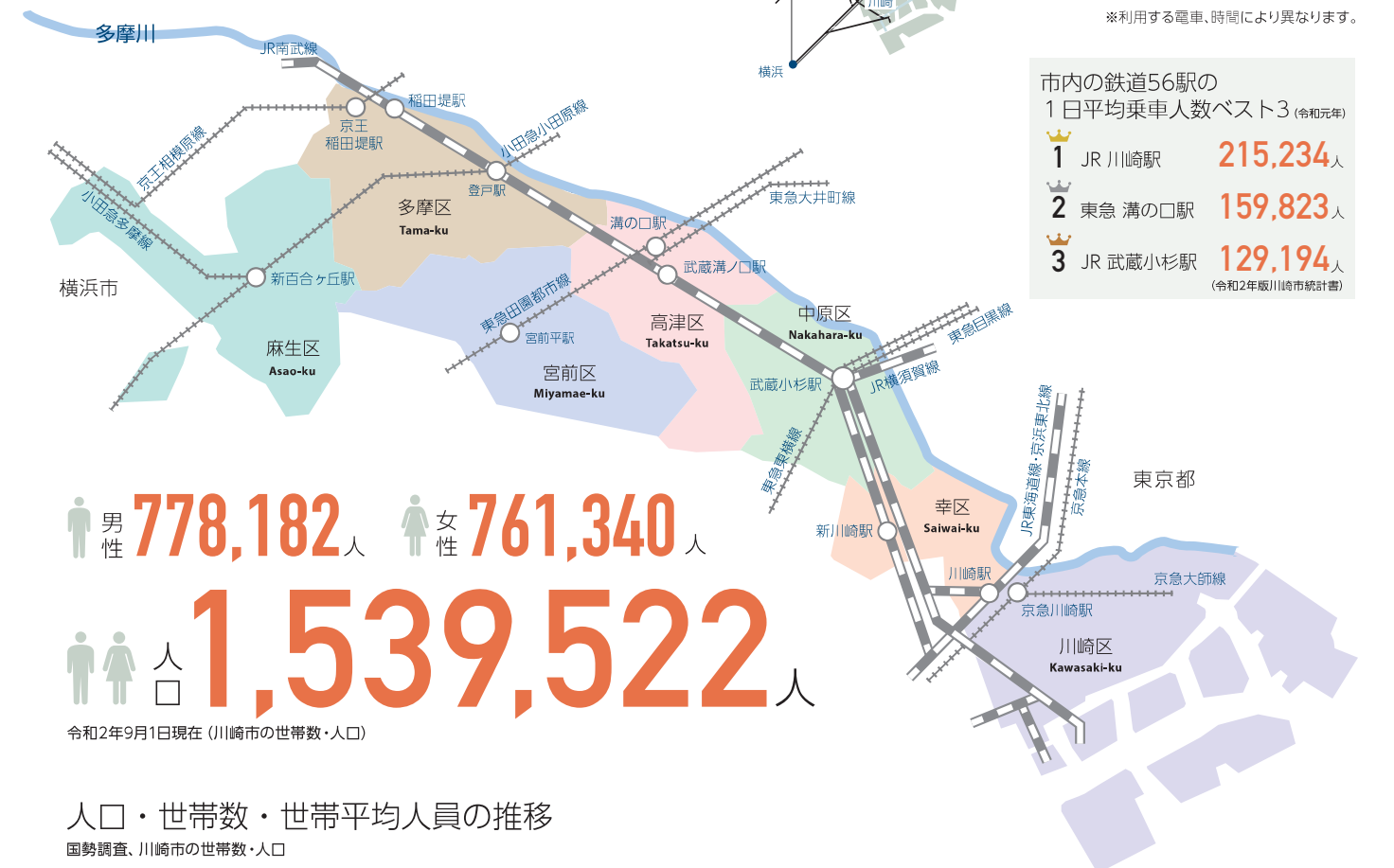
川崎	品川	約9分
川崎	横浜	約8分
川崎	羽田空港	約16分
武蔵小杉	渋谷	約13分
溝の口	渋谷	約14分
登戸	新宿	約16分

※利用する電車、時間により異なります。

**市内の鉄道56駅の
1日平均乗車人数ベスト3(令和元年)**

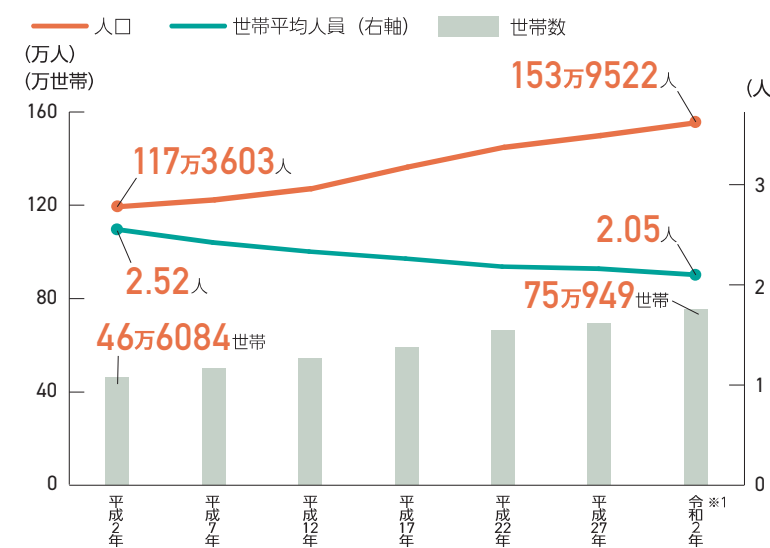
1	JR川崎駅	215,234人
2	東急 溝の口駅	159,823人
3	JR武蔵小杉駅	129,194人

(令和2年版川崎市統計書)



人口・世帯数・世帯平均人員の推移

国勢調査、川崎市の世帯数・人口



※1 令和2年9月1日現在、それ以外は10月1日現在

平均年齢 **43.6**歳
令和元年10月1日現在(令和元年版川崎市統計書)

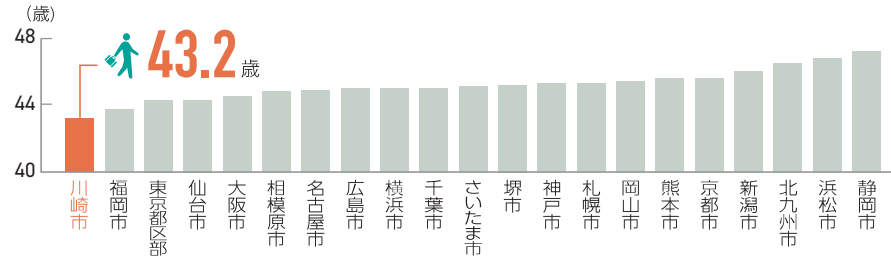
外国人住民人口 **45,358**人
令和2年9月末現在(川崎市区別年齢別外国人住民人口)

昼夜間人口比率^{※2} **88.3**
平成27年10月1日現在(平成27年国勢調査)

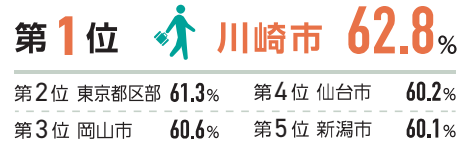
※2 昼夜間人口比率とは、常住人口(夜間人口)100人あたりの昼間人口の割合

働いている人の平均年齢が最も若く、正規で働く人の割合が最も多いまちです

■有業者の平均年齢 (平成29年就業構造基本調査)



■正規の従業者割合 (平成29年就業構造基本調査)

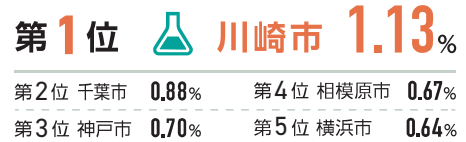


製造業や学術研究などが盛んなまちです

■製造品出荷額等 (H30年工業統計調査)

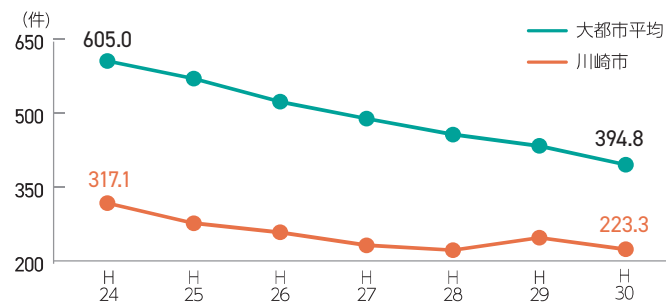


■学術・開発研究機関の従業者割合 (H28年経済センサス→活動調査)

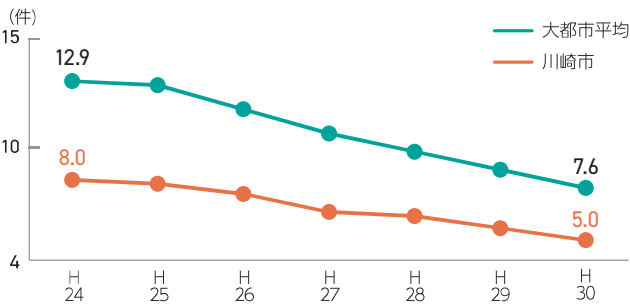


交通事故発生件数、刑法犯認知件数が少ないまちです

■人口10万人当たり交通事故発生件数大都市比較 (大都市比較統計年表)

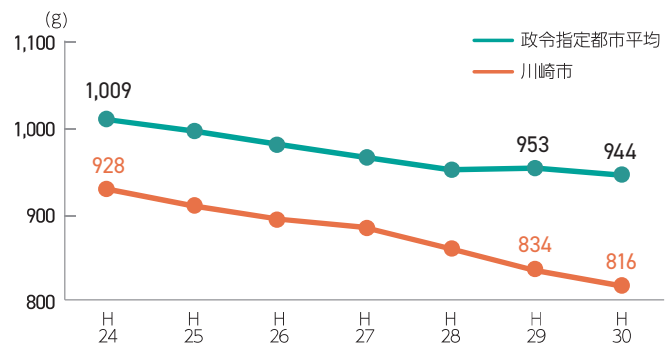


■人口1,000人当たり刑法犯認知件数大都市比較 (大都市比較統計年表)



1人当たりのごみ排出量が少ないまちです

■1人1日当たりのごみ排出量の推移 (一般廃棄物処理実態調査)



平成24年 928g 政令指定都市で **第4位**

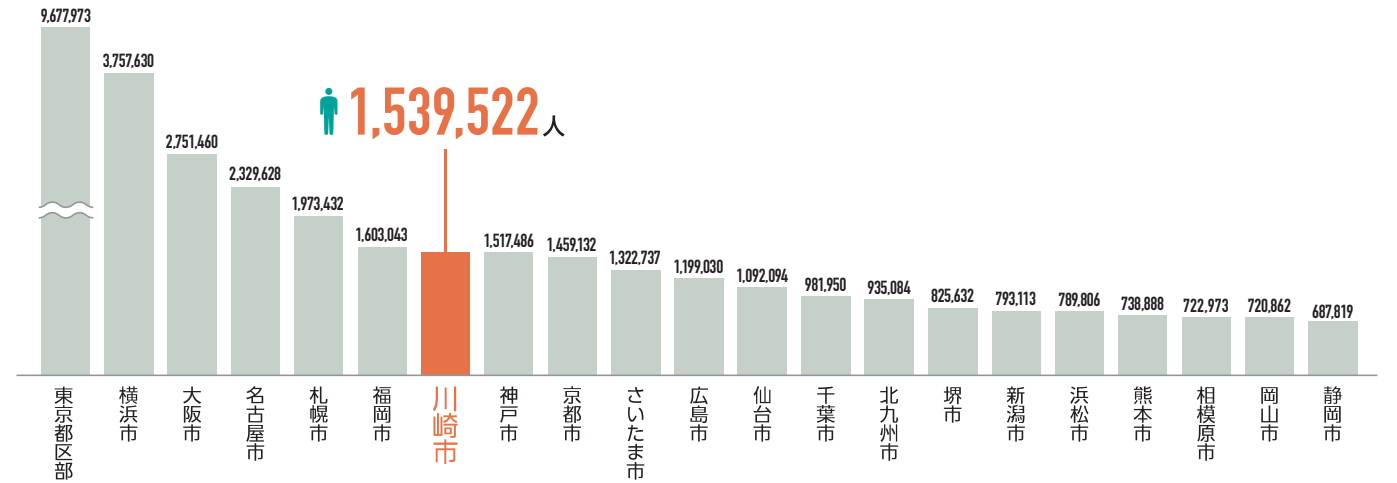
平成29年 834g 政令指定都市で **第1位**

平成30年 816g 政令指定都市で **第1位**

2年連続第1位

7番目に人口が多いまちです

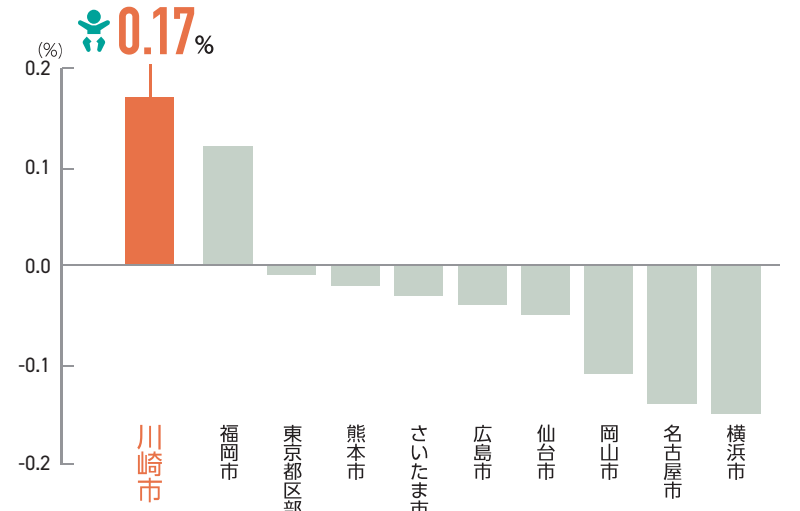
■人口 令和2年9月1日現在(各都市推計人口)



人口の自然増加比率が最も高いまちです

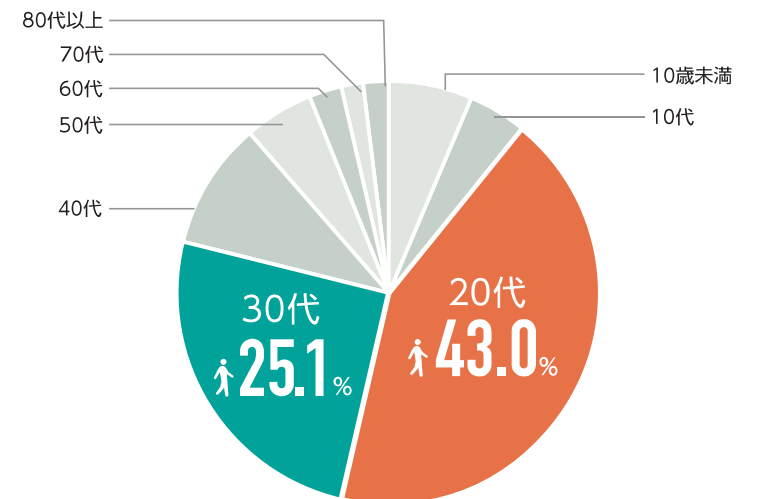
■自然増加比率 (平成30年大都市比較統計年表)

自然増加比率とは自然増加数(出生数-死亡数)を人口で割った比率です



20代・30代の若い世代の転入者が非常に多いまちです

■転入者年齢別割合 ※市内区間移動を含む (令和元年川崎市の人口動態)



令和3年度当初予算

一般会計	8,208億4,131万円	特別会計(13会計)	4,680億3,862万円	企業会計(5会計)	2,153億3,684万円	合計	1兆5,042億1,677万円
------	---------------	------------	---------------	-----------	---------------	----	-----------------

歴史で見る川崎市の姿

川崎市南部は、江戸時代には東海道の宿場として栄え、今から約100年前にはすでに臨海部の工業地帯が生まれていました。一方、内陸部は、都市化されていきましたが、豊かな自然が今も残されています。政令指定都市で6番目の人口を有する大都市に発展した川崎市の誕生から現在に至るまでの歩みを振り返ります。

原始～古代

約3万数千年前の旧石器時代から人の営みが始まった川崎市域では、縄文時代前期には海面の上昇がピークを迎え、高津区溝口付近にまで海岸線が入り込み、周辺の丘陵上には多くの貝塚が残された。縄文時代中期以降、海岸線は徐々に後退し、丘陵上での定住的な生活が営まれるようになった。古代には、律令国家の地方支配を支える拠点として、現在の高津区から宮前区にかけて橘樹郡家とその西隣に古代寺院が営まれた(史跡橘樹官衙遺跡群)。



史跡橘樹官衙遺跡群(橘樹郡家跡)で検出された建物跡等

平安時代後期には、市域に川崎の地名の由来ともいわれる河崎荘や稲毛庄(荘)などの荘園が成立した。鎌倉～室町時代を経て、戦国時代に小田原北条氏の支配が市域に及ぶようになると、荘園は姿を消していった。小田原北条氏滅亡後、徳川家康が関東へ入国すると、安定した経営基盤を築くための地域開発としてニヶ領用水が開削され、江戸を起点とした東海道や中原街道などの幹線道路には宿場や継立村が置かれるなど、川崎市域は江戸を支える地域として重要視され、発展した。



東海道五拾三次之内川崎 六郷渡舟 浮世絵協力:公益社団法人川崎・砂子の里資料館

明治時代には、鉄道や多摩川の水運に恵まれ、東京と横浜の中間に位置するという立地条件に注目した浅野総一郎によって臨海部の埋め立てが開始され、活発な企業誘致により多数の近代工場が進出し、急速に近代化が進んだ。このような中で、大正13(1924)年には川崎市が誕生。戦時中には、多数の軍需工場が存在したために、戦災も大きなものだったが、工業都市として復興を遂げ、昭和47(1972)年には政令指定都市となり、現在もさらに力強く発展を続けている。

中世～近世

近現代

- 大正 13(1924)年
- 昭和 2(1927)年
- 8(1933)年
- 12(1937)年
- 13(1938)年
- 14(1939)年
- 19(1944)年
- 20(1945)年
- 25(1950)年
- 26(1951)年
- 32(1957)年
- 42(1967)年
- 46(1971)年
- 47(1972)年
- 48(1973)年
- 52(1977)年
- 57(1982)年
- 59(1984)年
- 61(1986)年
- 平成 2(1990)年
- 4(1992)年
- 7(1995)年

- 7月 川崎町・御幸村・大師町合併、川崎市誕生(人口48,394人) **A**
- 4月 田島町、市に編入
- 8月 中原町、市に編入
- 4月 高津町・日吉村の一部、市に編入
- 6月 橘村、市に編入
- 10月 稲田町・生田村・宮前村・向丘村、市に編入
- 4月 柿生村・岡上村、市に編入
- 7月 全国初工業用水道完成
- 10月 市電開通(昭和44年3月廃止)
- 4月 川崎大空襲、市街地焼失 **B**
- 12月 市営バス営業開始
- 6月 市が川崎港の港湾管理者に
- 9月 市人口50万人突破
- 4月 日本民家園開園
- 8月 青少年科学館開館 **C**
- 3月 川崎市公害防止条例施行
- 4月 政令指定都市になる(川崎・幸・中原・高津・多摩の5区誕生)
- 5月 100万人目の市民誕生
- 7月 全国初の環境アセスメント条例施行
- 6月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 7月 高津・多摩区の分区により、宮前区・麻生区誕生(7区制)
- 10月 情報公開制度実施
- 10月 川崎地下街アゼリア誕生
- 11月 市民オンブズマン制度創設
- 4月 平和館開館
- 10月 廃棄物の鉄道輸送開始



旧川崎町役場前(提供:市民ミュージアム)



空襲による被害(川崎区鈴木町方面を臨む)



青少年科学館開館(提供:川崎市映像アーカイブ)

- 8(1996)年
- 9(1997)年
- 11(1999)年
- 13(2001)年
- 14(2002)年
- 15(2003)年
- 16(2004)年
- 17(2005)年
- 18(2006)年
- 19(2007)年
- 20(2008)年
- 21(2009)年
- 22(2010)年
- 23(2011)年
- 24(2012)年
- 25(2013)年
- 26(2014)年
- 27(2015)年
- 28(2016)年
- 29(2017)年
- 30(2018)年
- 31(2019)年
- 令和 元(2019)年
- 2(2020)年
- 12月 外国人市民代表者会議開始
- 3月 かわさき健康都市宣言
- 12月 東京湾アクアライン開通
- 10月 岡本太郎美術館開館
- 4月 子どもの権利条例施行
- 4月 人権オンブズパーソン制度創設
- 4月 全市立小学校にわくわくプラザ開設
- 4月 市人口130万人突破
- 7月 ミューザ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年) **D**
- 4月 川崎市自治基本条例施行
- 2月 市立多摩病院開院
- 10月 アートセンター開館
- 4月 人工海浜がある東扇島東公園が開園
- 4月 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)を開催
- 3月 JR横須賀線武蔵小杉駅開業
- 4月 日本映画大学開学
- 8月 かわさきエコ暮らし未来館開館
- 8月 浮島太陽光発電所運転開始 **E**
- 9月 藤子・F・不二雄ミュージアム開館 **F**
- 12月 扇島太陽光発電所運転開始
- 4月 政令指定都市移行40周年
- 4月 青少年科学館(かわさき^{こども}と緑の科学館)リニューアルオープン
- 3月 川崎生命科学・環境研究センター(LISE)開設
- 3月 殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」まちびらき
- 10月 東海道かわさき宿交流館開館
- 1月 第1回区民車座集會開催
- 4月 市立川崎高等学校を市内初の公立中高一貫教育校へ再編、附属中学校開校
- 7月 市制90周年記念式典開催
- 3月 橘樹官衙遺跡群が川崎市初の国史跡に指定
- 3月 川崎富士見球技場(富士通スタジアム川崎)リニューアル
- 3月 等々力陸上競技場メインスタンド供用開始
- 3月 JR南武線新駅「小田栄」駅が開業
- 3月 川崎市総合計画・川崎市行財政改革プログラムを策定
- 7月 市のブランドメッセージを策定
- 4月 市人口150万人突破
- 10月 カルッツかわさき(スポーツ・文化総合センター)開館
- 12月 全市立中学校で完全給食実施
- 12月 川崎フロンターレのJ1リーグ初優勝を記念し優勝パレードを開催
- 2月 JR川崎駅北口通路・北改札供用開始
- 4月 市コンベンションホールが武蔵小杉に完成
- 2月 市動物愛護センターが中原区上平間に移転
- 5月 市人口が政令指定都市第6位に
- 12月 市民100万本植樹運動達成
- 2月 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言
- 3月 ニヶ領用水が国登録記念物(遺跡関係)として文化財登録 **G**
- 7月 川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例全面施行
- 7月 川崎市パートナーシップ宣誓制度創設
- 8月 総合自治会館が武蔵小杉駅前に移転
- 10月 等々力球場リニューアルオープン
- 11月 かわさきカーボンゼロチャレンジ2050を策定 **H**



ミューザ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年)(提供:川崎市映像アーカイブ)



浮島太陽光発電所



藤子・F・不二雄ミュージアム



ニヶ領用水(多摩区宿河原付近)



かわさきカーボンゼロチャレンジ2050記者会見

川崎市では、市が保有する過去の映像を広く公開しています。

川崎市映像アーカイブ

川崎市映像アーカイブ 検索

川崎市議会

市民の代表者である市議会議員の活動により運営される市議会

市議会は、市民が選んだ市議会議員が、市のルールである条例やお金の使い道である予算、市議会に出される意見・要望などについて話し合う、市の意思決定機関です。年4回の定例会や必要に応じて開かれる臨時会があり、より詳細な話し合いをするために、5つの常任委員会が設けられています。また、市民に開かれた議会を目指すため、広報紙「議会かわさき」の発行や本会議と委員会のインターネット中継なども行っています。



市民オンブズマン制度

市民オンブズマンは、市民からの市政に関する苦情申し立ての処理や市政の監視などを、市民権の理念に立って行い、必要に応じて、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めています。

人権オンブズパーソン制度

人権オンブズパーソンは、いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV(ドメスティック・バイオレンス)、セクハラなど男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申し立てを受け、関係機関などとの連携を図りながら問題解決に向けて活動を行っています。

かわさき健康都市宣言

心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることは、私たちがみんなの願いです。川崎市に住み、働き、学び、ひとりが手を携えて、かけがえのない健康をはぐくんでいくために、次のことを行います。

- 私たちは、「市民健康デー」を大きく実らせ、進んで健康づくりに励みます。
- 私たちは、スポーツや運動に親しみ、食生活と休養に気を配り、健康的なライフスタイルを身につけます。
- 私たちは、健康を支える温かな家庭、だれもが安全で安心して暮らせる地域、思いやりあふれる社会をめざします。
- 私たちは、多摩川や海辺の潤いと多摩丘陵の緑などの恵みを健康に生かし、安らぎのある環境づくりに努めます。

細長く変化に富んで広がる川崎市は、私たちがみんなのふるさとです。地域の隅々から元気な声がかかります。あすの明日に伸びゆく人間都市を創造していくために、ここに「かわさき健康都市」を宣言します。

平成9年3月25日 川崎市

核兵器廃絶平和都市宣言

真の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の念願である。

しかるに、核軍備の拡張は依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。わが国は、世界唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを声大にして全世界の人々に訴え、再びこの地球上に広島、長崎の、あの惨禍を繰り返させてはならない。

このことは、人類が遵守しなければならない普遍的な理念であり、我々が子孫に残す唯一の遺産である。川崎市は、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、国際社会の連帯と民主主義の原点に立って、核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和57年6月8日 川崎市

世界に開かれたまち川崎

友好都市 1 シェフィールド市 (イギリス) ■平成2年7月30日提携 ■人口約58万人	友好都市 2 リューベック市 (ドイツ) ■平成4年5月12日提携 ■人口約22万人	友好都市 3 ザルツブルク市 (オーストリア) ■平成4年4月17日提携 ■人口約16万人
姉妹都市 4 リエカ市 (クロアチア) ■昭和52年6月23日提携 ■人口約13万人	友好港 5 ダナン港 (ベトナム) ■平成6年1月24日提携	姉妹都市 6 瀋陽(しんよう)市 (中国) ■昭和56年8月18日提携 ■人口約832万人
友好都市 7 富川(ぶちやん)市 (韓国) ■平成8年10月21日提携 ■人口約84万人	姉妹都市 8 ウーロンゴン市 (オーストラリア) ■昭和63年5月18日提携 ■人口約22万人	姉妹都市 9 ボルティモア市 (アメリカ) ■平成4年7月14日提携 ■人口約59万人
国内友好自治体 10 中標津町 (北海道) ■平成5年7月9日提携 ■人口約2万3千人	国内友好自治体 11 富士見町 (長野県) ■平成5年4月22日提携 ■人口約1万4千人	国内友好自治体 12 那覇市 (沖縄県) ■平成8年5月20日提携 ■人口約32万人

名誉市民

市に関係が深く、市の発展などに卓越した功績を残し、市民に敬愛される方々です。



藤嶋 昭 さん
 科学者
 (平成30年選定)
 「光触媒」を発見。
 文化勲章受章

- (故) 金刺 不二太郎さん 元市長 (昭和46年選定)
- (故) 伊藤 三郎さん 元市長 (平成2年選定)
- (故) 圓錐 勝二さん 彫刻家 (平成3年選定)
- (故) 岡本 太郎さん 芸術家 (平成4年選定)

市民文化大使

文化芸術・スポーツ分野で活躍されている方に、市のイメージアップに貢献していただいています。



与 勇輝 さん 人形作家
 伊藤 多喜雄 さん 民謡歌手
 鶴澤 久 さん 能楽師
 大谷 康子 さん バイオリニスト
 大矢 紀 さん 日本画家
 小原 孝 さん ピアニスト



国府 弘子 さん ピアニスト
 佐藤 征一郎 さん 声楽家
 SHISHAMO ミュージシャン
 成田 真由美 さん パラリンピックメダリスト
 パンチ佐藤 さん スポーツタレント

かわさきスポーツパートナー

川崎をホームタウンとするトップチームが「かわさきスポーツパートナー」として、ホームゲームへの市民招待や市内小中学生を対象としたスポーツ教室などを通じて、スポーツを楽しめるまちづくりや、市のイメージアップに貢献していただいています。



NECレッドロケッツ 女子バレーボール
 川崎ブレイブサンダース 男子バスケットボール
 川崎フロンターレ サッカー
 東芝ブレイブアレス 野球



富士通フロンティアーズ アメリカンフットボール
 富士通レッドウェーブ 女子バスケットボール

フランチャイズ・オーケストラ



東京交響楽団

ミュゼ川崎シンフォニーホールを活動拠点に、数多くの演奏会を行う他、市内での巡回公演など、さまざまな演奏活動を行っています。

名誉国際親善大使

ご自身の活動を通して、本市の国際的なイメージの向上に貢献していただいています。



中澤 弘 さん
 医師



ライナー・キュッヒル さん
 バイオリニスト

川崎市歌

(昭和9年制作)

作詞/小林俊三 作曲/高階哲夫

一、
見よ 東に 寄する暁潮
富士の姿を 真澄に仰ぎ
かがやく雲を いろどる多摩川
希望満つる 朝風
今ぞ明けゆく わが川崎市

二、
東海道の おもかげいずこ
左右に展ぶる 大都の翼
高らかに打つ 文化の脈はく
科学に樹つ 栄光
勢い努めて 若き生命を

三、
巨船つなく ぶ頭の影は
太平洋に 続く波の穂
汗と力に 世界の資源を
集め築く 基礎
今ぞ輝く わが川崎市



YouTubeの川崎市チャンネルで視聴できます

市制60周年記念 川崎市民の歌

好きです かわさき

愛の街

(昭和59年制作)

作詞/肥後義子 補作/石本美由起 作曲/山本直純

一、
多摩川の 明ける空から
きこえる やさしい鳥の歌
ほほえみは 光のシャワー
さわやかに こころ洗うよ
新しい 朝は生まれて
ひと 人びとの 軽い足どり
好きです
陽差しの 似合う街
好きです
かわさき 愛の街

二、
よろこびを 語る広場に
きこえる やさしい花の歌
そよかぜは 緑のリボン
あざやかに こころ飾るよ
新しい 愛は生まれて
わかち合う 胸のときめき
好きです
みんなで 生きる街
好きです
かわさき 愛の街

三、
街並の つづく窓から
きこえる やさしい愛の歌
まごころは 希望のリズム
いきいきと こころ弾むよ
新しい 時代は生まれて
つなぐ手に 明日を夢みる
好きです
幸せ 灯す街
好きです
かわさき 愛の街

市章

(大正14年制定)

川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています。



市民の花・市民の木

(昭和49年制定)

市制50周年を記念して市民にゆかりの深いもの、親しみのあるもの、都市緑化にふさわしいものなどを考えて、市民投票で選ばれました。



市民の花 つつじ



市民の木 つばき